

自動中継送水ポンプ

《操作マニュアル》

 トーハツ株式会社

この操作マニュアルは、自動中継送水ポンプの取扱いについての説明です。基本となる消防ポンプの取扱いについては、付属の『トーハツ全自動消防ポンプ取扱説明書』を良く読んで理解して御使用下さい。

取扱い要領

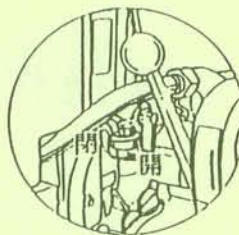
1. 自動中継運転

1) 運転前の点検操作：別冊『トーハツ全自動消防ポンプ取扱説明書』参照

【注意】：以下の項目は必ず確認して下さい。

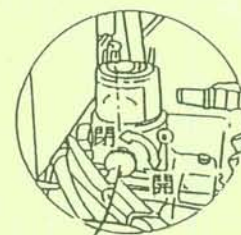
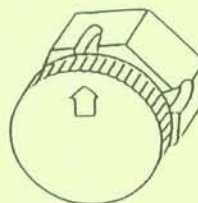
●燃料コック・・・・・・・・開

コックのレバーを下げて開にしておきます。…（常時開）
（運転しない時も必ず開として下さい）



●燃料電磁弁・・・・・・・・閉

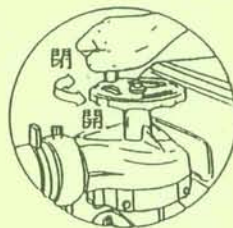
燃料電磁弁は閉とします。…（常時閉）
（運転時、電磁弁は自動的に開きます）
電磁弁のつまみの矢印↑が上向きが閉の位置です。



（自動運転位置）

●フラットバルブ・・・・・・・・開（常時開）

〈オペレバルブ・・・・・・・・開（常時開）〉



●スロットルダイヤル・・・・・・・・低速（全閉）

2) 運転方法：オペレーションパネルの使い方は別冊『トーハツ全自動消防ポンプ取扱説明書』を参照して下さい。

《始動・放水》

①操作電源スイッチ・・・・・・・・自動側をON



②中継切換スイッチを“中継”側に倒す。

3) 自動中継運転動作

①元ポンプからの送水が中継ポンプに到達し、真空連成計が0.1MPa (1 kgf/cm²) 以上になると、エンジンが自動的に始動します。

②エンジン始動後、電子スロットルによりエンジンの回転数を調整し、真空連成計が0.06～0.15MPa(0.6～1.5kgf/cm²) になるように制御されます。

③元ポンプが送水を中止し、真空連成計が0.06MPa (0.6kgf/cm²) 以下となり15秒間連続した場合、エンジンを停止させます。(元ポンプの送水が再開された場合は前①、②項の操作を自動的に繰り返す。)

④吐出圧力は、安全のため圧力連成計が1～1.05MPa(10～10.5kgf/cm²) 以下になるように電子スロットルで制御されます(吐出圧力制御優先)。

注意!! もし、真空連成計が0.15MPa (1.5kgf/cm²) 以上になった場合は、次ポンプ側に何らかの問題があるか、次ポンプまでの距離または高低差に問題があるため調査し対処して下さい。

4) 中継送水運転の停止

①自動で停止するため基本的には操作不要。

②緊急停止はオペレーションパネルの“停止/リセット”スイッチを押す。

③エンジン停止後、操作電源スイッチ“OFF”を押す。

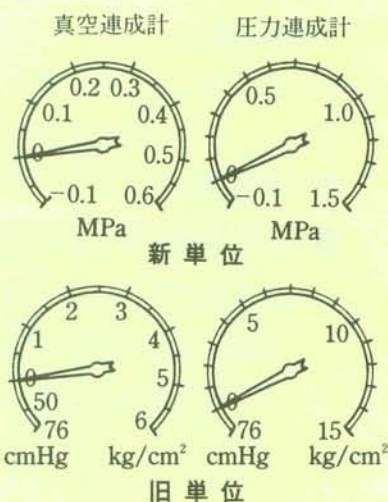
注意!! フラットバルブは全開のままとし、ポンプを撤収するときまで閉にしないこと。

④中継送水の全てのポンプが停止されたことを確認し、ホースを外した後排水コックを開き水を完全に排水する。排水を確認したら開いたコックは必ず閉めておく。

⑤燃料コックを閉にする。

⑥燃料ドレンバルブを引いてキャブレタチャンバー内の燃料を抜く。

⑦フラットバルブを閉にする。



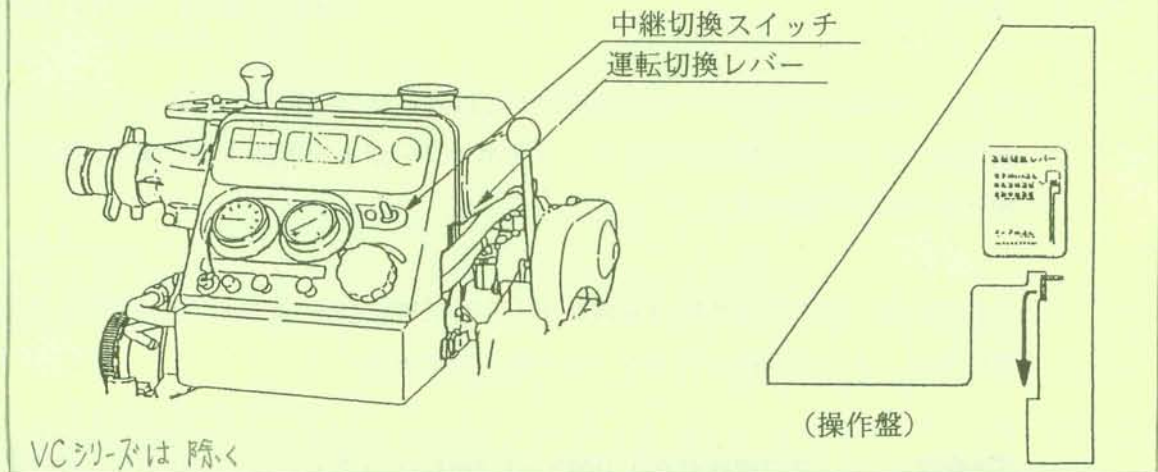
2. ポンプ単独運転

1) 自動中継送水によらないポンプ単独運転または自動中継送水運転不能時のポンプ手動運転の場合は、以下の操作を行って下さい。

●中継切換スイッチを“単独”側に倒す。

●ポンプ側操作盤右横の運転切換レバーをポンプ側運転/単独運転（レバー下方）に止まるまで下げてからスロットルダイヤルを操作して下さい。

※運転切換レバーを下げないでスロットル操作をすると、放水圧力の制御ができない場合があります。



2) 運転方法については、別冊『トーハツ全自動消防ポンプ取扱説明書』の取扱い要領を良く読んでから行って下さい。

3. 付属品取扱上の注意

付属品：別冊『トーハツ全自動消防ポンプ取扱説明書』を参照して下さい。

4. その他のポンプの取扱いについては、別冊『トーハツ全自動消防ポンプ取扱説明書』を参照して下さい。